



News Release
報道関係各位

2022年3月30日
株式会社ウフル

株式会社ウフル SBT認定を取得 温室効果ガス排出量削減「1.5°C目標」の認定

株式会社ウフル（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：園田 崇史 以下、ウフル）は、2030年度の温室効果ガス削減目標について、国際的団体である SBT イニシアチブから、気候変動による世界の平均気温上昇を産業革命前と比べ 1.5°C に抑えるという、「1.5°C目標」の認定を受けましたので、お知らせします。

参考 URL：<https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action>



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

■ Science Based Targets (SBT) について (<https://sciencebasedtargets.org/>)

Science Based Targets は、パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より 2°Cを十分に下回る水準(Well Below 2°C)に抑え、また 1.5°Cに抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のことで、CDP・UNGC・WRI・WWFの4つの機関による共同イニシアチブが運営しています。

ウフルは持続可能な社会の実現を経営理念に掲げており、お客様、株主、従業員など様々なステークホルダーへの情報開示の充実を目的として、自社の排出量算定と削減活動に取り組んでおります。また、日本政府が2050年カーボンニュートラルを宣言するなど、各企業において温室効果ガス排出量の削減に対して、より具体的な行動を求められている昨今の状況を鑑みて、今後もカーボンニュートラル実現に向けて活動を行ってまいります。

（ご参考）ウフルの Carbon neutrality について
<https://uhuru.co.jp/carbonneutrality/>



■株式会社ウフルについて (<https://uhuru.co.jp/>)

ウフルは「テクノロジーと自由な発想で、持続可能な社会を創る」を理念として、企業や社会のDX（デジタルトランスフォーメーション）とデータ活用を支援・推進しています。クラウドサービスの導入と運用をはじめ、コンサルティングやシステム開発等を自社製品やソリューションとともに、エッジからクラウドまでワンストップで提供しています。また、企業活動の枠を超えて、地域や産業のDXを実現するために、スマートシティやスマートサプライチェーンに必要とされる、信頼できるデータ流通のための仕組みの導入と標準化に向けた提言を行いながら、IoT×ブロックチェーン領域における研究開発にも取り組んでいます。